



小坂まさ代

こさか

国分寺・生活者ネットワーク 市議会議員



<https://kosaka@seikatsusha.me>

国分寺・生活者ネットワークと小坂まさ代の活動をご紹介します

政治は遠いものではなく、日々の暮らしの中に当たり前にあるものとして、少しでも身近に感じてもらうことを大切に活動してきました。現在、小学生と中学生を育てている立場だからこそ見える子育て当事者の目線で、しっかりと支援策や予算をチェックし、子どもの権利の視点から、子どもの声をもとにした政策提案や市政への要望を続けていきます。

「声をあげれば、社会は変えていけるんだ!」ということ、これから生きていく子どもたちに、心から伝えたいのです。誰もが思いを交換できる環境を、居場所を、風通しの良いまちをつかっていきたい。一人ひとりが大切にされ、自分らしくいられる社会の実現に向けて、2期目も全力を尽くします!

小坂まさ代プロフィール

- 1969年足立区生まれ 都立上野高校 立教大学経済学部卒 百貨店勤務 足立区生涯学習振興公社で非常勤職員
- 2008年生活クラブ生協に参加
- 09年本多公民館「幼い子のいる親のための教室」参加
- 13～18にしくワンダーランド保育園にて「お話し会」
- 13～18渋谷区子ども・親子支援センター、児童館勤務
- 15年国分寺市学童保育所保護者連合会委員
- 18年国分寺市立第四小学校PTA会長、国分寺市立小・中学校PTA連合会理事、国分寺・生活者ネットワーク会員(子ども部会)
- 19～20年国分寺市社会教育課放課後子どもプランコーディネーター、第7期国分寺市教育委員会図書館運営協議会委員
- 21年国分寺市議会議員補欠選挙で初当選 厚生文教委員会、新庁舎建設等特別委員会
- 家族：夫、子ども2人
- 泉町在住



小坂まさ代さんを応援します

深津高子

こどものつうやく/ピースポルト洋上「子どもの家」アドバイザー



子どもたちの意見や参画とともに「土づくり」を進めていけるのは、市内外に幅広い年齢層の知人や、多様なバックグラウンドの仲間、そして軽やかなフットワークを持つ小坂さんしかいません。子どもたちの代弁者としての活動に期待します。

中野晃一

上智大学教授

福嶋浩彦

中央学院大学教授・元我孫子市長 情報公開クリアリングハウス理事長

三木由希子

環境活動家

田中 優

社会福祉法人 悠遊理事長

鈴木礼子

子どもたちの自立支援相談所

高橋亜美

矢島助産院

矢島床子

小林良壽

古書まどろ堂

児嶋俊郎

NPO 法人まちのおやこテーブル

小林洋子

ははがよむ

青木知子

NPO 法人 じぶん未来クラブ

永島宏子

株式会社マザーティクシヨナリー代表

尾見紀佐子

株式会社スタンドブックス代表

森山裕之

国際山岳ガイド

天野和明

アルビニスト

佐藤美保

八王子 おんぶ育児の会代表

西脇さやか

劇あそび・表現教育ファシリテーター/臨床心理士

平島 毅

画家

船橋 旭

市民講師

池田あつ子

元都議会議員

大西ゆき子

元都議会議員

山内れい子

前都議会議員

多良けい子

元市議会議員

小坂まさ代



▲絵本の読み聞かせボランティアは現在も継続中
◀22年秋、子どもの権利が遊びながら学べる「なんでやねんすごろく」で小学生たちと遊ぶ場を持ちました。「なぜ宿題があるの?」「遊んでいるとどうさういわれるの?」子どもはみんな自分の「声」をもっている。その「声」を届け施策に生かします。

●4月23日(日)は国分寺市議会議員選挙の投票日です(期日前投票:4月17日～22日)



◎情報をわかりやすく公開し、子どもたちが市のまちづくりの意見をだせる機会をつくりまします。

◎学校も公園もまちづくり全体を誰もが使いやすい視点で整えます

1. 子どもたちがのびのびと育つ国分寺

- 育児支援と子どもの発達に対する理解をすすめる
- 産前産後から子育てを孤立させない支援体制の充実
- 貧困による教育格差をなくすためのサポート体制の拡充
- 安心・安全な学校給食無償化
- すべての子どもの学びと遊びを地域で保障
- 学校に行かない、行けない子どもへの支援や特別支援教育を子ども目線で整える

2. 高齢になっても障害があっても暮らしやすい国分寺

- 24時間対応できる在宅介護・在宅医療のしくみを強化
- 障害者の就労支援・生活支援の充実
- 介護する人の人生を応援するケアラー支援条例をつくる
- 住まいの確保が困難な人への相談と支援を充実

国分寺・生活者ネットワークと小坂まさ代の提案

ひとりにしない子育て・介護 ～つながる社会 協働ですすめるまちづくり～

3. 一人ひとりが大切にされる国分寺

- 学校も公園もまちづくり全体をインクルーシブ（誰もが使いやすい）の視点で
- 誰もが「そのままでもいい」と思える居場所を増やす
- 憲法を守り、地域から人権・平和を発信
- 文化や芸術を暮らしの中にく地域での活動や発表の場を増やす

4. 緑と水を守り安心で生きる環境の国分寺

- 地産地消をすすめる、食の安全、都市農業を守る
- 国分寺崖線、砂川用水など水と緑を守り、野川の国分寺部分の親水化整備実現
- ごみの発生抑制と有効利用を推進し循環型社会へ
- 脱原発！原発の再稼働に反対。省エネルギーと再生可能エネルギーをすすめる

5. 大事なことは市民が決める国分寺

- 公共施設の整備は市民の意見を反映し使いやすいものに
- 情報をわかりやすく公開し、政策決定過程に子どもや若者を含め幅広い市民参加を促進
- 市の財政状況をチェックし、かゆい所に手が届く予算配分を

小坂まさ代 活動のひとこま



ネットが長年提案してきた、福祉の総合相談窓口が、23年にオープンしました



長年、国分寺地下水の会の野川湧水流量調査に参加。定期的な調査による湧水量の変異周辺環境の変化から原因を探りながら市へ提案しています。



子どもたちにとって身近な遊び場である公園に、子どもたちの声をいかにしたいと、22年秋、公園で遊ぶ子どもたちに聞き取り調査を行いました（黒鐘公園と窪東公園）。聞かせてもらった声を22年12月市議会に直接届けました。



ちよつと腰かけられる場所や気軽に休めたり、喉を潤す場をまちのあちこちに増やしたい。腐材でつくったベンチを置いてあるお宅のベンチをお借りして



本町にある環境まちづくりNPO エコメッセは、地域の方への給水スポットにもなっています

生活者ネットワークは市民が立ち上げた政治団体です。毎年、市民の声を集めて政策をつくり、市や都に予算要望として提案しています。

小坂まさ代 今までの主な質問

- ・長期化するコロナ禍における子どもたちへの影響について
- ・放課後子どもプラン事業について
- ・特別支援教育について
- ・学校に行けない、行かない子どもたちの支援について
- ・産後ケア事業について
- ・子ども家庭支援センター、多胎児家庭への支援について
- ・保育所等や学童保育所の入所要件について
- ・子どもを取り巻く読書環境
- ・乳幼児期の読み聞かせの取組について
- ・子宮頸がんワクチンの積極的勧奨再開について
- ・女性の心と体の支援について
- ・香害について
- ・プラスチックごみの削減について
- ・インクルーシブな公園づくりについて
- ・子どもの声を生かした公園整備を
- ・市民にとってよりわかりやすく情報や資料を提供していくために
- ・誰もが投票しやすい環境づくり